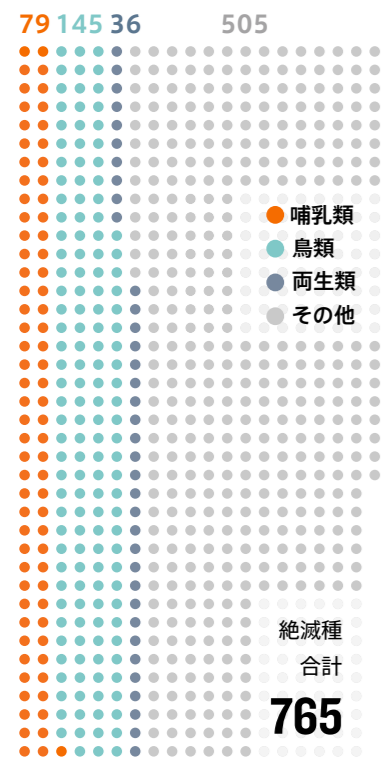


絶滅の脅威にさらされる生物

絶滅危惧種と見なされている生物は現在、数千種あるが、実際に絶滅のリスクを抱えている種はさらに多いと考えられており、見積もりからは、年に 500 ~ 3 万 6000 種が姿を消しているという結果が得られている。哺乳類や鳥類、両生類といった分類群については調査が進んでおり、良いデータが得られているが、昆虫類や魚類など他の分類群に対する脅威については、あまり分かっていない。(go.nature.com/x8w3ec)

すでに絶滅した生物

1500 年以降に報告された総数



大量絶滅への道

大量絶滅（全生物種の 75% が絶滅）は地球史において過去に 5 回起こっている。もし現存する生物種の数 が 500 万種で、毎年それらの 0.72% が消えていく（見積もりの最大値）とすれば、2200 年までに 6 回目の大量絶滅が起こる可能性がある。一方、見積もりの最小値では、今後数千年は大量絶滅が起こらない。

現在の絶滅危惧種の数

哺乳類

1199

記載種の 26%



ブーラミス
(*Burramys parvus*)

鳥類

1373

記載種の 13%



ケープペンギン
(*Spheniscus demersus*)

両生類

1957

記載種の 41%

サマージヤドクガエル
(*Ranitomeya summersi*)

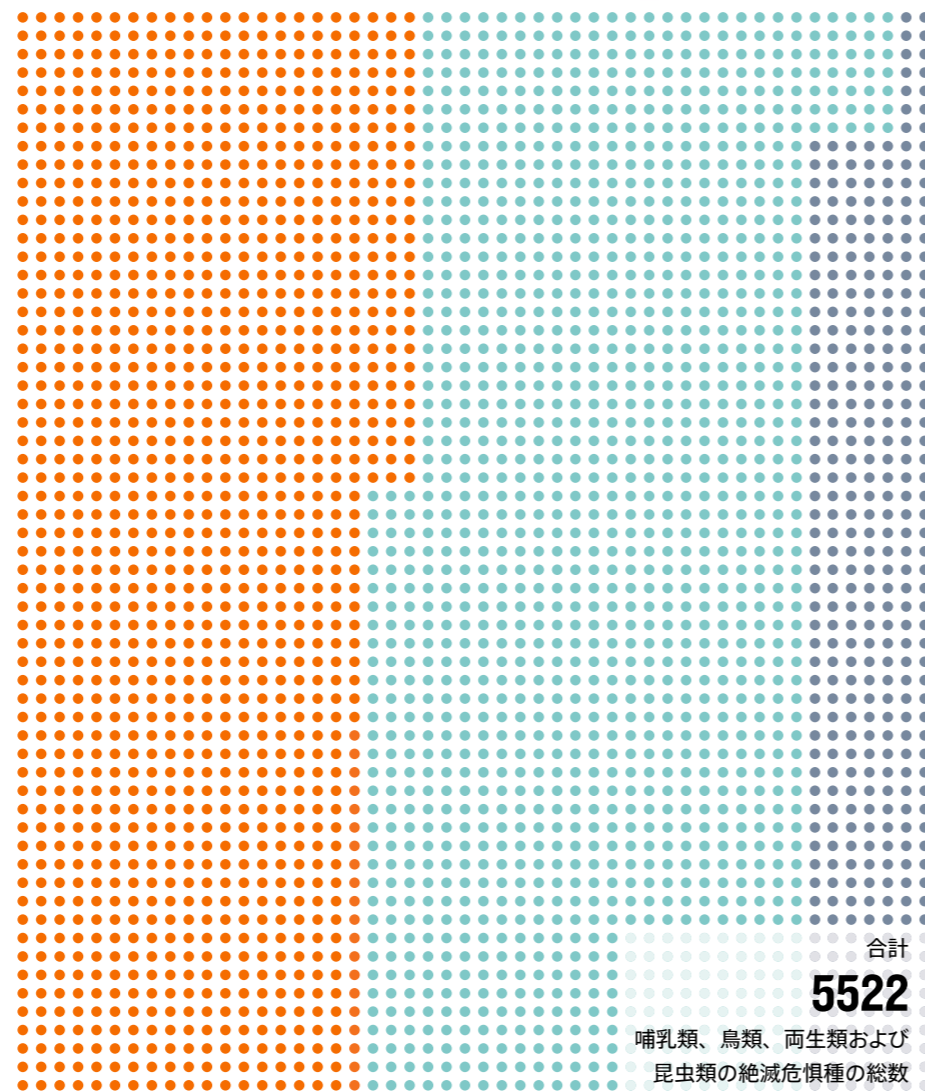


昆虫類

993

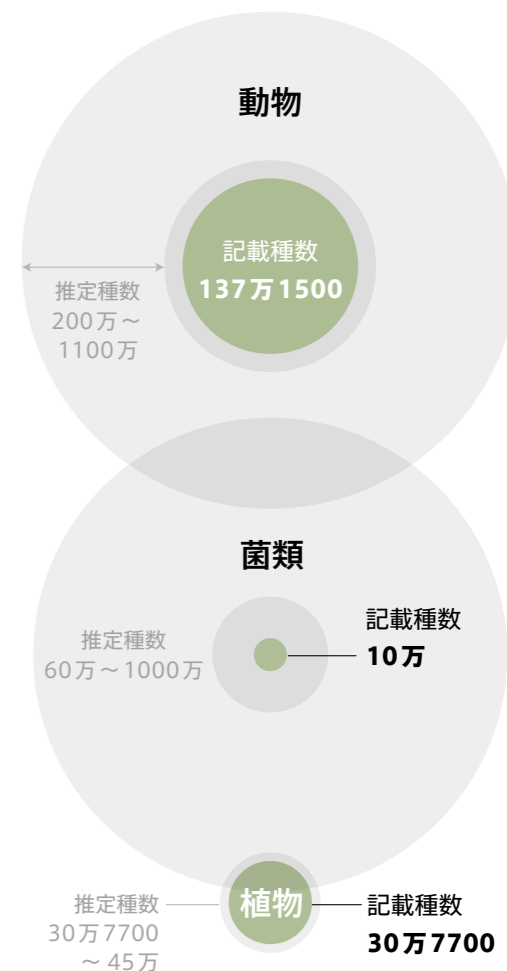
評価対象は記載種約 100 万種の 0.5% にすぎない。現存種の数 は 500 万種を超えている可能性がある。

アメリカモンシロムシ
(*Nicrophorus americanus*)



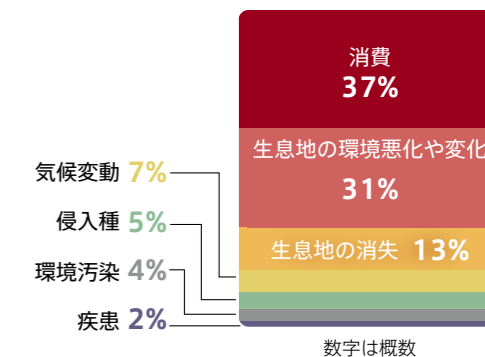
現存種の数はいくつ？

動物、菌類、植物の種数の推定値にはかなりの幅があり、そうした不確実性により、絶滅危惧種や現在絶滅のさなかにある種の数把握することが難しい。



主な脅威

世界自然保護基金 (WWF) の『生きている地球指数 (Living Planet Index)』によると、生物の個体数減少の最大の要因はヒトによる「消費」で、次に生息地の「環境悪化」と「消失」が続く。一方、気候変動の影響は経時的に増大していくと予想される。



1 週間当たりの絶滅種数



PHOTO CREDITS: *B. parvus* and *N. americanus*: Getty Images; *S. demersus*: Life on white/Alamy; *R. summersi*: Joel Sartore/National Geographic Creative/Getty.

SOURCES: Already Extinct, Currently threatened: IUCN Red List. How many species are there?: S. L. Pimm et al. *Science* **344**, 1246752 (2014); B. R. Scheffers et al. *Trends Ecol. Evol.* **27**, 501-510 (2012); IUCN Red List. March towards mass extinction: Pimm et al.; C. Mora et al. *Science* **341**, 237 (2013). Main threats: WWF Living Planet Report 2014.